

令和5年11月吉日

北原小学校保護者様

和光市立北原小学校
校長 船越 一英

令和5年度の全国及び埼玉県「学力・学習状況調査」の結果について

本年度4・5月に実施した「全国学力・学習状況調査」及び「埼玉県学力・学習状況調査」の本校児童の結果について分析を行い、学力向上のための取組をまとめましたので、以下の通りお知らせします。

記

1 調査の目的・内容

(1) 全国学力・学習状況調査(対象：第6学年)

【目的】

文部科学省が、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることや、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善策に役立てる。

【内容】

- ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し・評価・改善する力等に関わる内容等
- ・生活習慣等についての質問

(2) 埼玉県学力・学習状況調査(対象：第4学年、第5学年、第6学年)

【目的】

「学習した内容がしっかりと身に付いているか」という視点とともに、「一人一人の学力がどれだけ伸びているのか」という視点を加えて、子供たち一人一人の学びや成長の姿を明らかにするとともに、子供たちの学力の伸びを経年の調査結果から把握する。

【内容】

- ・国語 算数 生活習慣等についての質問

2 本校における調査結果(それぞれの調査結果を踏まえたもの)

《本校の良い点》

- 国語では県平均・市平均を上回り、良好な結果がでています「情報の扱い方、我が国の言語文化」「話すこと・聞くこと、書くこと」「読むこと」の領域は特によくできていました。
- 算数ではどの学年も県平均を上回り、「データの活用」についてどの学年も良好な結果が出ています。
- あいさつ、返事はよくできると答えた児童が多くいます。

《本校の課題》

- 国語では全学年共通で「言葉の特徴や使い方」について、さらに身に付けていく必要があります。
主語や述語・反対の言葉・指示語の使い方等身に付けられると良いです。
- 算数では基礎基本の徹底に加えて、思考力・判断力・表現力等を身につけられるとさらに良いです。
- 学習の準備・履き物をそろえる・机やロッカーの整理等を課題と感じている児童がいます。
- 昨年度よりどの学年も読書するようになっていきます。

《本校の取り組み》

- ☆国語で課題となった「言葉の特徴や使い方」については、国語の学習と並行して他の学習でも扱っていきます。また読書活動を推進する中で活字に触れる機会を増やします。
- ☆算数では、算数タイムの充実、休み時間の算数個別指導の活動など児童が算数に触れる環境を充実させていきます。また算数の授業には教員が複数入る形式や専科が授業をする形式をとり、専門的かつ個に応じた指導を充実していきます。
- ☆生活習慣については担任も引き続き指導していきます。ご家庭でも授業の準備・読書をする事への声かけよろしくお願いします。